

# 寺報

No.632

令和2年4月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

大地だいちの上に針はりを立てて大梵だいぼん天宮てんぐう  
より芥子けしをなぐるに、針はりのさきさきに  
芥子けしの貫つしぬかれたるよりも、法華ほけきやう經きやう  
の題目だいもくに値あい奉たてまつる事ことかたし。

『法華ほけ題目だいもく鈔しょう』



弁才天

### (解説)

「広大な大地の上に小さな針を一本立てて、はるか彼方の天空にあるという大梵天王の宮殿から一粒の芥子を投げ落とした所、その針の先にあたって貫き通される事が例えあつたとしても、我々が人として生まれ、お釈迦様の最高の教えである法華經とお題目に値う事はもつと難しい事なのである。」

これだけ、我々が人間として生まれた事は大変にまれで、かつ有り難い事なのだと、日蓮大聖人は力説しています。

しかしどうでしょう、最近の人達はこの事を忘れてしまい、非常に命を粗末にしているのが現状です。また自分だけは大丈夫だとばかり、好き勝手な事をし放題、毎日のように事故や事件またいじめなどを繰り返しているのです。

我々の命は、我々個人だけのものではありません。みんな法華經で説かれました『久遠の本仏』様にながる命なのです。

こうして今、人間として生まれ、また法華經に縁を持ち、更にお題目に出会う事が出来た我々は、最高の幸せ者なのです。

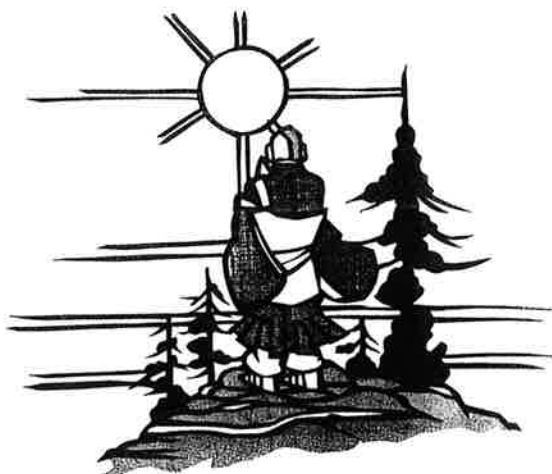
どうか、しっかり靈神符（毎月のお守り）を持ち、一心に法華經・お題目を唱えていきましょ。

四月十三日(月)

午後一時より

場所：大本堂

# 会 誕 降 御 祖 宗



\*日蓮大聖人様の第七百九十九回目の

お誕生日の日です。

\*皆さんでお祝い致しましょう。

\*お供物も受け付けます。

日蓮大聖人がお生まれになった地は、今の千葉県安房郡の小湊こみなとという小さな漁村であります。そのお家柄については、諸説があり現在でも定かではありません。

大聖人は自らをこういいます。

「日蓮は日本国東夷東条安房の国、海辺かひへんの旃陀羅せんだらが子なり。」

「日蓮今生には貧窮下賤びんぎゆうげせんの者と生まれ、旃陀羅が家より出たりいで(略)身は人身にんしんに似て畜身ちくしん也。」

「日蓮は(略)東条の郷、片海の海人あまの子也。」

「日蓮は中国、都の者にもあらず。辺国へんごくの將軍等の子息にもあらず。遠国えんごくの者、民の子にて候。」

この中の『旃陀羅』といいますのは、インドの身分制度カースト制で最も下の階級に位置づけられていて、屠殺とぎょうなどの仕事をしていた階層です。

つまり、仏様の大悲を戴くには、家柄や身分・職業などは全く関係なく、ただ我々がいかに法華経・お題目の信仰をしていく事が大事なのであるかという事をお示しにされたのです。

## 檀信徒研修会のお知らせ

☆四月二十五日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

\*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂【イス席です】

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

\*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

\*ご自分の修行の為、懺悔滅罪ざんげめつざい(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張って修行して下さい。

## 靈 断

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。宗旨宗派は問いません。

## 『聖典の読誦と唱題行』の次第

礼 拜 文 「謹みて礼拝し奉る」 【4ページ】

開 經 偈 「無上甚深微妙の法」 【6ページ】

読 經 「方便品第二」 【9ページ】

「如来寿量品第十六」 【13ページ】

「如来神力品第二十一」 【19ページ】

「觀世音菩薩

普門品第二十五」 【23ページ】

「陀羅尼品第二十六」 【30ページ】

「普賢菩薩

勸發品第二十八」 【35ページ】

懺 悔 文 「夫れ懺悔は治病の」 【47ページ】

御 妙 判 「祈 禱 鈔」 【67ページ】

御 題 目 「南無妙法蓮華經」

宝 塔 品 偈 「此 經 難 持」 【72ページ】

回 向 文 「導師が唱えます」

四 誓 願 「誓つて南無妙法蓮」 【76ページ】

三 整 唱 「なむめうほうれん」 【77ページ】

彈 指 合 掌

以上

### お題目に生きた人

## 尾形 光琳

尾形光琳は、豊臣秀吉の側室『淀君』や徳川家の御用呉服商を勤めていました「雁金屋」の次男として、江戸時代の万治元年（一六五八）に京都に生まれました。

代々の京都町衆であつた光琳の曾祖父『道柏』が、熱心な法華経の信者であつた『本阿弥光悦』の姉『法秀』と夫婦になつてから、一家は日蓮宗に帰依する事となりました。

由緒ある家系と経済的にも恵まれた環境に育ちました光琳は、幼い頃から父『宗謙』と二条家に出入りし、能楽に興じるといふ豊かな生活をしていたそうです。そして父の死後、三十歳で莫大な遺産を継いだのですが、生来の派手好みの性格から放蕩を繰り返し、ついに数年で財産をすべて失つてしまいました。しかしこの一件から心を入れ替え、本格的に絵師としての修業を志したのでした。

初めは狩野派の絵を学びましたが、やがて『光悦』や『俵屋宗達』からその装飾的な画風を受け継いで以来、十四歳で法橋という高い絵師の位に叙せられました。以後活動期に入り、有名な「紅梅白梅図」など草花屏風絵、また弟『乾山』の焼き物に絵付けをした絵皿更に蒔絵、染職、工芸など数々の名品を残しました。そしてついには【光琳派】の画風として、後世にその名をとどめるに至つたのです。

また父を通じて、一族がすべて日蓮宗であります絵師の狩野派や親戚の『光悦』の影響を受け、特に法華経・お題目の信仰を深めていき、法華芸術の極致を表現した画家とまでいわれるようになったのでした。

享保元年（一七一六）六月二日、御年五十九歳で亡くなり、菩提寺の興善院に葬られました。

興善院へは、尾形一族から代々の住職が出ていましたが、その後、興善院の跡地に本行院が建てられ、現在は日蓮宗の大本山・京都妙顕寺の塔頭（子院）となつて受け継がれています。

### 大本堂

#### 『須弥壇』

#### 『鬼子母神・妙見様御厨子』

#### 『大黒様御厨子』

#### 『ご寄付のお願い』

今年六月二十一日（日）、日蓮大聖人のお誕生日【御生誕】八百年記念の東北教区大法要が、日蓮宗の管長猥下をお迎えしまして、当山で厳修されます。

その記念事業としまして、当山では大本堂御寶前の前の『須弥壇』（前机）と両脇にお祀りしています『御厨子』の修復工事を現在行っています。

いよいよ今月末に納入され、組み立て期間を経て、五月ついたちには完成する予定です。

どうかその旨をご理解戴きまして、今般の修復へのご協力をよろしくお願い致します。

なお、御浄財はご賛同頂けます檀信徒の皆様方にお願ひしております。

#### \*勸募方法

- 一、改修費用 三千一百万円
- 一、完成予定 令和二年五月
- 一、浄財 一口・一万円
- 完成まで募集します！

### 『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせていただきます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方には数がある限り無料でお譲り致します。

三席から特席にも上がれます。

詳細は事務所まで！

### 『朝のお勤め』のススめ

当山では毎朝午前六時半より『朝勤会』を執り行っています。

時間は、大本堂く小本堂く位牌堂を回りまして、約一時間十分となっています。

聖典【お経本】を最初から順序よく読んでいきますので、どうぞご一緒に読み下さい。

初めは難しいでしょうが、繰り返す事で段々慣れてくると思われますので、一生懸命頑張ってみましょう。

また、朝勤会に毎月の『祈願・供養』を申込みられている方には、特に朝参りをお勧め致します。

唯、お寺にお願いするのだけではなく、少しでも時間を見つけて、自らが参拝する事が大事なのです。

そしてご自宅では中々出せない大きな声で、「法華経」「懺悔文」「お題目」を唱え、祈願・供養などの願い事が早く成就するようにと、集中してご祈念して下さい。

お勤めはイス席で行っています。

◎注朝の『祈願・供養』・・・一件、一ヶ月三千元

### 『提灯』の募集!

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』(トロー)を募集致します。作成価格は八千円で年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

### 『聖徒団会員』募集!

毎月ついでに「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする聖徒タイムズ・寺報等の援助などに活用します。会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

### 『霊神符』を持ちましょう!

最近は何れもよらぬ事故が多発し、特に子供さんが悲惨な事故に会われています。皆様も「私は大丈夫」という考えはお止めになり、素直に毎月のお守り【霊神符】をお持ちになる様にお願いします。



### お寺からのお知らせ

当山では、次の主な仏事用品をお譲りしています。

#### \*お塔婆

◎普通塔婆 (二千元)

◎普通幅広塔婆 (二千五百円)

◎五十回忌用塔婆 (三千元)

◎五十回忌幅広塔婆 (三千五百円)

・お寺・ご自宅で法事をする時、お塔婆をご希望の方は、その旨をお申付け下さい。

#### \*お追膳

◎一膳(五百円)

・お寺で法事・命日忌を行う場合ご用意します。  
・位牌堂・永代供養堂にご命日にご用意します。

#### \*日蓮宗用過去帳

◎大・四千五百円◎小・四千元【書き代五千元】

#### \*大曼茶羅御本尊

◎極小三千五百円から各種サイズがあります。

大きさはご相談下さい。【魂入れ代五千元】

#### \*大荒行護符(オブラート・一枚三百円)

#### \*榎入大黒天(分割可能)

◎一升榎(手彫・五万円)(機械彫・三万円)

◎五合榎(手彫・四万円)【魂入・御幣代を含む】

#### \*お経本

◎聖典(八百円)

・ついでに朝のお勤め・朝のお勤め・檀信徒研修会用  
◎法華経要品の訓読【日本語読み】(千五百円)  
・十三日のお勤め・秋彼岸会のお勤め用

#### \*お経のテープとCD

◎聖典用のカセット(六百円)・CD(千円)

◎十三日用のカセット(六百円)・CD(千円)

#### \*地鎮祭用の経石

◎地鎮祭で土地に埋める経石五個(五千元)

#### \*起工式(柱立て)用の棟札

◎大黒柱に掛ける木札(三千元)

#### \*御首題帳

◎参拝寺院のお題目・御朱印の記入帳(千円)

#### \*朝光水(身延山の目薬・六百円)

#### \*その他・お守り・お札等

◎お守り袋・チェーン・ペット用のお守り・お札等色々取り揃えていますのでお申付け下さい。

# 四月の行事

一 日(水) 盛運祈願会 午後一時より

- ・お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱えて感謝の心を込めて戴きましょう。
- ・聖典(お教本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(月) 日蓮大聖人の御回向 午後一時より

- ・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・日蓮大聖人様への御報恩を忘れずに参拝し、一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(月) 宗祖御降誕会 午後一時より

注 日蓮大聖人のお誕生日です。

二十五日(土) 檀信徒研修会【唱題行】午後七時より  
注 どのような様でもご自由に参加出来ます。

## ☆奉仕のお知らせ

三日(金) 倉庫整理と境内地の大清掃 教宣部男女・・午前十時より

- \*大掃除を行いますので、よろしくお願い致します。
- ◎奉仕部長・山田兼補 ◎伝道部長・小野正春
- ◎教宣部長・杉淵昌三

## ☆行事のご案内

### \*盛運祈願会

- ・毎月のお守り(霊神符)を必ず着体しましょう。
- ・一日午後一時からのお勤めに参拝して下さい。

### \*十三日のお勤め

- ・日蓮大聖人様の大事な『月ご命日』の日です。
- ・午後一時からのお勤めに参拝して下さい。

### \*朝のお勤め

- ・毎朝、午前六時半より
- ・聖典【お経本】と数珠を忘れずに!

## ☆剣守札(星)

星祭の剣守札(星)をお忘れの方は、まだ受付ていますので、ぜひお申込み下さい。



一体・・・二〇〇円